



クラブ広報委員会 伊藤祥文 古川弘一 伊藤雅昭 R.I.認証 S28.6.22 例会 毎週金曜日12:30~13:30 例会会場 ツシマール会館 会長 鈴木吉男 幹事 寺島淳一 http://www.tsushima-rc.org
委員長 伊藤基 稲垣宏高 開田広 事務局 〒496-0044 津島市立込町3-26-2 ツシマール会館内 TEL(0567)26-1600 FAX(0567)26-1661 e-mail:info@tsushima-rc.org

本日の行事予定 (2014年4月11日)

第2965回例会

卓話担当: 横井知代君

講師: 愛西市観光大使

古池鱗林 (りんりん) 氏

演題: 「レンコンクィーン来たる
〜お楽しみ講談〜」

先回の記録 (例会)

第2964回 '14年4月4日 (金)

卓話担当: 広報委員長 伊藤基君

演題: 「今後のロータリー広報について」

ロータリーソング 「四つのテスト」

ソングリーダー 吉田康裕君

ビジター 栗木和夫君 (あまRC次年度会長)

篠田正志君 (あまRC次年度副会長)

臼井幹裕君 (あまRC次年度幹事)

会員総数 68名 3月7日例会分訂正

出席免除会員 22名 欠席会員 15名

本日出席会員 52名 MAKEUP会員 10名

本日の出席率 76.47% 訂正出席率 96.92%

超過出席 山本達彦君 (地区米山奨学期間終了者歓送会)、篠田廣君、伊藤哲朗君、寺島淳一君、安江正博君、前田昭生君、浅井賢次君、三谷栄一君、浅井彦治君、山本達彦君、田中正明君、八谷潤一君、余郷利彦君、服部貴君、山田勝弘君、伊藤基君 (第11回役員理事委員長会議)

会長挨拶



鈴木吉男会長

今日はあまRCから次年度の会長、副会長、幹事の方々においでくださいまして、本当にありがとうございます。本来ならば津島RCに入るべき人達で、仕事も住まいも津島の方です。そんな人材を逃したというのは我々の失敗であろうと思っています。その次また津島市在住の方で、東海君が会長になるそうです。次年度もその次の年度も津島の方が会長で、津島RCにご協力いただけるもの

と期待しております。今年度、あまRCさんが創立以来45年になりますが、初めて一緒に事業をやらせていただきました。次年度、またその次も考えていただいて一緒にやれればと思っております。

津島RCのテリトリーは津島市と愛西市です。この地方の文化・歴史を考える時、海部郡を同時に考えないといろんなことができない。かつて津島が中心だったのですが、あま市、弥富市、蟹江町の人々も津島に来るより名古屋の方が便利になりましたし、津島は置いていかれているという感じがしていますが、今後とも一緒にいろいろなことができればと思っておりますので、栗木会長にお願いできればなあとと思っております。

今月は「雑誌月間」で、伊藤基委員長から卓話をしていただきますが、『ロータリーの友』はロータリアンが購読するのは義務となっております。読むとロータリーのことが本当によくわかります。興味のあるところを選んで読んでいただければと思います。最近RIはロータリー財団を中心にロータリーを動かそうとしています。今後、『ロータリーの友』、そして『ガバナー月信』が重要度を増してくるのではないかと思います。『ロータリーの友』はRIから2~3年ごとに正式に認定を受けないといけない雑誌だそうです。今世界には20か国ぐらい、33の“ロータリーの友”があります。それによって、世界各国のロータリーが同じような方向を向いて動いているということがご理解いただけたと思います。日本ではなかなか世界について物事の発想ができません。私も最近ロータリーの会長をやる前からBSのニュースで、世界がどうなっているのか注意して見てますが、やはりロータリアンとして世界に目を向けて、我々は何ができるかを考えていただければよいと思います。

幹事報告

寺島淳一幹事

- あまRCの栗木和夫次年度会長、篠田正志次年度副会長、臼井幹裕次年度幹事がおいでになっています。後ほどご挨拶いただきます。



2. 第15回西尾張ロータリークラブ美術展の案内ハガキをお配りしました。4月8日(火)～13日(日)まで稲沢市荻須記念美術館で開催されます。

3. 4月9日(水)に開催されます第9回地区国際奉仕

委員会に鈴木会長兼地区国際奉仕副委員長が出席いたします。

4. 『ガバナー月信』4月号を回覧しました。

5. 本日、例会終了後、役員・理事・委員長にて理事会を開催します。該当の方は出席をお願いします。

以上です。よろしくお願いいたします。

ニコボックス報告 第2964回分

水野憲雄ニコボックス委員

栗木和夫君(あまRC・次年度会長) 次年度あまRC会長になります栗木和夫です。ごあいさつにまいりました。

篠田正志君(あまRC・次年度副会長) 津島RCの皆様、今後共よろしくお願いいたします。



臼井幹裕君(あまRC・次年度幹事) 本日、親クラブである津島ロータリークラブへ勉強にまいりました。よろしくお願いいたします。

鈴木吉男会長、伊藤哲朗副会長、寺島淳一幹事 あまRCの栗木和夫次年度会長、篠田正志次年度副会長、臼井幹裕次年度幹事 Welcome!! ようこそいらっしゃいました。次年度もよろしくお願いいたします。

安江正博君、浅井彦治君、幅辰雄君、伊藤幸蔵君、伊藤祥文君、加藤則之君、水野人志君、篠田廣君、住田正幸君、住田由純君、高木輝和君、山田勝弘君、余郷利彦君、吉田康裕君 あまRCの栗木和夫次年度会長、篠田正志次年度副会長、臼井幹裕次年度幹事をお迎えて。

浅井賢次君 ①松崎院長先生、ご無理ばかり言ってゴメンナサイ。お蔭で台北滬尾RC訪問の約束ができそうで安心しました。②台北滬尾RCの皆さんの歓迎会に欠席し、申し訳ありませんでした。③三谷さん、土地公示UP日本一おめでとう。

伊藤基君 本日卓話を担当します。

水野憲雄君 松崎先生にお世話になりました。安心しました。ありがとうございます。

相羽あつ子君 桜の花も満開になり、新しいお友だちを迎える準備も整いました。新学期がいよいよスタートです。

篠田廣君 滝川さんに昨日お世話になりました。

山田清三君 ご心配をおかけしております。なんとか生きております。また、皆様にお見舞いいただき、ありがとうございます。

滝川林一君 ネパールから無事帰りました。その他。

矢田潔君 金婚式を迎えました。お蔭様で二人とも元気で毎日が幸せです。

秋田勝彦君 今月で60歳になってしまいます。誕生日がこないことを願っています。

伊藤誠君、鶴見治貞君、高木輝和君、安江正博君、加藤隆朗君、佐藤雅彦君 ウィークリーに写真が載りまして。

松崎安孝君、根崎健一君、片岡鉄君、稲川明俊君 その他。

卓話

卓話担当：広報委員長 **伊藤基君**

演 題：「今後のロータリー広報について」

地区広報委員会で、各RCのホームページや会報などを、ある程度統一して見やすくしようという動きがあります。

【なぜイメージ向上が必要か】

ロータリーは100年以上にわたり、会員の職業の知識やスキルを生かして地域社会に貢献してきました。しかし、このようなロータリーの活動は一般にはほとんど知られていません。「ロータリーとは何か」「ほかの団体とどう違うのか」「なぜロータリーは大切なのか」を理解してもらおうという課題に直面する今、ロータリーを人々に伝える方法を考え直す必要性が生じています。

2011年、ロータリーはイメージ向上を目的とした数年間の取り組みを開始しました。その目的は、ロータリーに対する理解を促進すること、そして現会員や入会見込者、寄付者、戦略パートナー、職員の関心とモチベーションを高め、行動を促すことです。

【これまでの経緯】

この取り組みは、ロータリーの魅力や独自性を定義することから始まります。

- ・ **ロータリーのエッセンスを定義**
他団体との違いを明らかにする
- ・ **価値観を行動として表現**
抽象的な言葉に具体性を与える
- ・ **ボイスを確立**
ロータリーの独自性を反映させる
- ・ **明確でわかりやすい表現を使用**
ロータリーは何をする団体か、どのように参加できるのかを理解しやすくする
- ・ **ビジュアルアイデンティティをリフレッシュ**
伝統を引き継ぎながら、生き生きとしたデザインに

【私たちがすべきこと】

ロータリーを生き生きと伝える上で必要なのは、すべてのロータリアンがロータリーの一員としての自覚を持つことです。

コミュニケーションする際に、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーを守り、推進し、効果的に伝えることが重要です。

ロータリーのイメージに統一性を持たせることにより、ロータリーへの認識が高まり、ロータリー内外すべての人々にロータリーの体験を生き生きと感じてもらえることができます。

【ロータリーの呼び方】

ロータリー=コミュニケーションで使う名称

あらゆるコミュニケーションにおいて、活動全体あるいはロータリー全体を指す場合

国際ロータリー=法的な名称およびサポート部門としての名称

34,000 クラブの世界的連合体として呼ぶ場合、及びクラブをサポートする統括機構と事務局を指す場合

ロータリー財団=慈善部門としての名称

ロータリーの募金と補助金提供を行う部門を指す場合、またはそう呼ぶのが適切な場合や法的にそう呼ぶことが義務づけられている場合

【ロゴと誇りのシンボル】

長年、ロータリーの歯車が資料や掲示板でロゴとして使われてきました。この歯車には「ROTARY INTERNATIONAL」という文字が入っていますが、文字が小さいため読みづらいものとなっています。

【公式ロゴ】



Rotary 文字のグラフィック

ロータリーの徽章

【クラブのロゴ使用例】



【ホームページのロゴ使用例】



誕生日祝福 (4月)

加藤隆朗親睦活動委員

- 安江正博君 (3日)
- 滝川林一君 (3日)
- 児玉 昭君 (5日)
- 山田清三君 (6日)
- 坂井 裕君 (8日)
- 杵田勝彦君 (12日)
- 宅見康悦君 (25日)
- 田中正明君 (27日)



夫 人

- 鈴木吉男夫人 (2日)
- 幅 辰雄夫人 (5日)
- 岡本康義夫人 (18日)

- 後藤 亨夫人 (3日)
- 高木輝和夫人 (10日)

結婚記念日祝福

- 水野憲雄君 (1日)
- 鈴木吉男君 (3日)
- 水野人志君 (15日)
- 河西あつ子君 (17日)
- 伊藤雅昭君 (20日)
- 安江正博君 (29日)

- 住田正幸君 (2日)
- 田中正明君 (14日)
- 浅井彦治君 (16日)
- 古川弘一君 (19日)
- 矢田 潔君 (26日)
- 寺田晏章君 (30日)



Happy Birthday !!



その他



あまRCの栗木和夫次年度会長、篠田正博次年度副会長、臼井幹裕次年度幹事

『ザ・ロータリアン』2014年4月号(P.50~53)

ロータリーを通じて知った 本当の親善



私がセネガルの首都、ダカールに着いて間もなくのこと、ある友人がアドバイスをしてくれました。「指輪を買ってきて、左手の薬指にはめておいたほうがいいよ」というもの。この回教国で、男性たちが私のような若い独身のアメリカ人女性に言い寄ってこないための予防策だということです。

実は、私はそれより以前、結婚して指輪をはめていました。ただ、結婚して一年もたたないある日、夫は戦死してしまっただけです。それは2006年、私は26歳でした。でも結婚1周年まで指輪を外すことはできませんでした。その一年間どん底にいた私は、自分の人生の目標を見出そうと考えあぐねた末、本の執筆を始めることにしました。そこで私が出会ったのが、ロータリーだったのです。

まず、ロータリーの交換プログラムで、若い職業人チームの一員として1カ月間、フランスに滞在しました。その体験で勇気を得た私は、その後、米国ニューヨークにあるコロンビア大学でジャーナリズムを学び、修士号を取得しました。次に私がチャレンジしたのは、ロータリー奨学生として発展途上国に留学すること。できる限りそれまでの日常から離れたかった私は、西アフリカ文学を学ぶため、セネガルの大学に行くことにしました。

セネガルに到着してしばらくした暑いある日、私は友だちからのアドバイスに従い指輪を買うために、街へ出かけました。細い道を歩いてある宝石店に入ると年老いた店の主人が半分居眠りしていたので、「銀の結婚指輪はありますか」と聞くと、老人は布袋一杯の指輪をショーケースの上にはらまきながら、どこから来たのかと聞きます。「米国です」と答えると、その老人は前に乗り出

し、「じゃ、なぜイスラム教徒に戦争を仕掛けるのか説明してもらおうじゃないか」と言うのです。私は、自分でもよく分かってもない紛争について説明しようと思いました。夫が戦死したこと、その戦争はイスラム教徒に対するものではなかったことも説明しようと思いましたが、老人の怒りは収まりません。私はすごすごと店を出ていくしかありませんでした。

その頃はちょうど「アラブの春」と呼ばれた時期で、あちこちで人々が体制に反発して蜂起し、ダカールでも学生たちがタイヤに火をつけたり、道路を遮断して抗議行動を起こしていたのです。しかし、セネガルでの滞在は私にとって大切な宝物となりました。大手の出版社から、夫の死を巡る回想録を出版したいという要望があり、あの体験を本にすることで悲しみを乗り越える機会が得られたのです。

最初の一か月滞在したホストファミリーはとても温かい人たちで、おかげでアフリカでの生活に慣れることができ、しかも長男のムーサは、私と同じくジャーナリスト。とてもいい友人になりました。ところが、その後まもなくムーサは病気で急死。お葬式で僧侶が追悼の祈りをささげている間、私は家族と一緒に、涙が止まらなかったのを覚えています。

葬儀から一か月ほどたったころ、ムーサの家族が食事に呼んでくれました。食後、母親と私は外で一緒に座り、沈黙のまま過ごしました。そしてしばらくすると母親が静かに私の手を取りました。子供を失った母親の悲しみを本当に理解することは不可能でも、その手から悲しみの深さが伝わってきました。親善というものは、一対一の心の触れ合いから生まれるものだということ。その時私は、そのことに気づきました。

文：アーティス・ヘンダーソン

次回例会

第2966回 '14年4月25日(金)

卓話担当：伊藤彰浩君

講師：(有)フロム・サーティ代表取締役
池崎晴美氏

演題：「幸せな人づきあいの習慣」

お知らせ

■休会

4月18日(金) (定款6-1-C)

■米山奨学生マルデイス君

送別カラオケ会

とき：4月25日(金)18:00~

ところ：第二サンガーデン